

う。また、患者の早期発見と救済のため市内の医療機関との連携を強めることや中小企業への支援についても追求しました。

錦水ホテルあとに

15階建てマンション

錦水ホテル後にマンションが建ち1階がパチンコ屋になるという情報がある。また日通跡は何になるのかと質問。

市は錦水ホテルは福岡の業者が落札した。日通跡地に山口銀行は決定、家電量販店の情報もあるので引き続き情報の早期収集に努めると答弁。

山田議員の一般質問

山田議員は錦川に関する諸問題、介護保険法の改正に伴う施設利用者の負担問題、アルゼンチンアリ対策と基地内のクログケグモの防除対策について質問を行いました。

錦川問題では大雨が降るたびに市民は、きれいな水は周南へ、汚い水は岩国市へ」と口々に言っていることを紹介し、一年の台風18号の被害等を踏まえ、浚渫等を求めたにもかかわらず山口県はすずめの涙程度の「浚

渫費」でお茶を濁していることを指摘、浚渫並びに中洲および川の左右に生い茂っている樹木や竹の伐採を早急を実施すること。関戸・藤川地区に堤防と陸コウ(陸の水門)を設置するよう山口県に強く求めるよう主張。

介護保険に関して

食費や介護施設の居住費が介護保険の対象外になり原則として全額が利用者負担となったことを指摘し、居住費、食費の自己負担化の導入による介護3施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)での利用者への影響について現状と対応について質しました。

アルゼンチンアリ対策

「灘地区連合自治会」と「アルゼンチンアリ被害地域住民の会」連名で「被害と生息範囲が拡大し、灘地区では緊急の課題の一つ」として「行政機関、学識経験者、地域住民などによる対策委員会」の設置を求めていること紹介し、対策を求めました。岩国市は、生息調査に着手すると答弁しました。

米軍再編

一月二〇日全員協議会開催

市民の声

無視した

日米合意

米軍再編 中間報告に厚木基地の空母艦載機の艦載機部隊を

岩国基地に移転することが盛り込まれました。議会初日に井原市長から報告がありました。

内容はF A I 18 ホ ネットを中心に57機を厚木基地から岩国

基地に移転させ、一方で海上自衛隊のE P I 3、U P I 3(電子、画像収集機)など一部部隊を厚木基地に移転させる。また、普天間基地から岩国基地へ移転させることが決まっています。市民の反対の世論を強めましょ

鹿兒島県の鹿屋自衛隊基地に移転させるなどとするものでした。問題のN L Pについてはできるだけ硫黄島で実施、低騒音機については岩国基地で実施するとしています。



宇野千代生家用地取得をめぐって、委員会は紛糾

— 異例の2日にわたる審議 —



平成17年3月議会で「用地取得費が6000万円と高額の上、市民多数の理解が得られる程度」まで予算執行を凍結する決議を行ないました。

NPO 法人会員 600 人、生家取得のための金額は予約を含め 400 万円集まっているとの説明であったが、委員会審議の中で、会員は 550 人 募金は 115 万円しか集まっていないことが判明、当初の説明と異なり、委員会は紛糾し、審議不可能になりました。

助役は「配慮に欠けていた」「議会軽視ではない」と陳謝しましたが、関係資料で明らかになったのは、115 万円集まっているはずが約 85 万円(13 日現在)しかなく、急遽 9 人から 330 万円集め 416 万円になった。

NPO 法人の会費は 78 万円しかないにもかかわらず、当初事業計画費 185 万円、次年度 300 万円と根拠のないものになっている・・・等々。

最初から、議会がどうであれ「生家土地取得すべき」の姿勢が随所にあらわれ議会は反発しました。

明けましておめでとうございます

本年もよろしく申し上げます



久米けいすけ前県議



藤本ひろし



山田やすゆき



大西明子



発行所
日本共産党東部地区
岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5
22-2245

1月号

市議会議員
大西明子
山田泰之
藤本ひろし



お読みください
日刊 月 2900円
日曜版 月 800円



昨年は米軍再編問題、台風14号による錦川流域での大きな被害がありました。今年には三月に米軍再編での「最終報告」が出されます。三月二〇日から八市町村が合併し山口県で一番広い「新岩国市」が誕生します。

日本共産党市議団は合併後、市民サービスの低下をさせないために全力で頑張ります。厚木基地部隊の岩国移駐には住民のみなさんと力を合わせて反対し、平穏な市民生活を守ります。

憲法「9条」を守るため、みなさんとともに頑張っていく決意です。どうかよろしくお願ひします。

平成十七年十二月議会は十一月二十九日から十二月二〇日までの日程で開かれ、平成十六年度の一般会計決算、平成十七年度補正予算が主な議題で審議、可決されました。

大西議員の一般質問

台風14号の被災者救援と災害原因について

県に床上浸水全世帯に見舞金を支給するよう要望すること。

県独自で生活再建支援制度・住宅再建制度を創設し被災者の要望に沿うよう県に要請すべきだと迫りました。

十一月二十九日現在、被災状況は全壊2棟、山陽道崩落3名死亡1人重傷、半壊178棟182世帯462人(全て床上浸水)、半壊に至らない程度の床上浸水657棟776世帯2237人、床下浸水550世帯1337人です。

支援策適用状況は、市見舞金862世帯に、県見舞金147帯に支払済みです。

被災者生活再建支援の適用はわずか5世帯、災害救援資金貸付17世帯、住宅応急修理87世帯契約済みです。半壊が178棟、182世帯もあるのに住宅応急修理は

87世帯しか適用がありません。被災者住民の間では、同じ床上浸水なのに隣は適用され、自分の家は対象にならない。不公平で納得がいかないと強い不満があります。

大西議員は、岩国市は床上浸水全世帯に見舞金を出している。県も全世帯に見舞金を出すよう求めるべき。更に国の制度では充分救済できない。鳥取県や他の県で実施しているように県独自の制度を創設するよう求めました。

市も県に対して要望していくと答弁。



道路沿いに座されたゴミの山



藤本議員の一般質問

藤本議員は厚木基地が岩国に移転されれば、市民生活への影響は騒音問題だけでなく、米兵が増大することにより、事件、事故が格段に増大する危険性がある。とりわけ女性や児童生徒に対する事件が多発する危険があることを指摘しました。

騒音問題では三次にわたって住民訴訟が起こされ、三次訴訟での横浜地裁での判決は、五千人を超える原告に対して27億円の賠償命令が出されています。このような厚木基地の騒音などの実態を広く市民に知らせるべきだ。井原市長は、座間や相模原市長のように反対運動の先頭に立つべきだとして市長の見解を求めました。

アスベスト対策

アスベスト対策について5点質問し、山パル(現日本製紙)で元従業員に胸膜肥厚患者が多発して「アスベスト問題を考える会」も発足しているが、市内の大手企業にも同じようなアスベストの曝露者がいると考えられるが調査する必要があると思